



2022年1月14日

「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」の創設について

株式会社広島銀行(代表取締役頭取 部谷 俊雄)では、お客さまのサステナビリティを巡る課題解決の支援に向けたソリューションの充実・強化への取組みの一環として、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長 渡辺 一)ならびに株式会社日本経済研究所(代表取締役社長 高橋 洋)の協力のもと、地元企業のサステナビリティ経営への取組みを支援するサービスの取扱いを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景と目的

気候変動や人口増加、経済格差、人権問題など、さまざまな社会課題が顕在化するなか、2015年の国連でのSDGs採択や、COPでのパリ協定合意以降の国際的な脱炭素化への取組みの加速、ESG投資の拡大などもあり、企業に対しても、経済価値の追求だけでなく、社会価値の創出に向けた取組みへの要請が強まっています。

事業環境の不確実性が増すなか、企業が長期にわたり持続的に成長し、社会から必要とされ続けるためには、この社会的要請に対応し、事業基盤である環境・社会を維持・増強しながら、経済活動としての事業を持続的に成長させる“サステナビリティ経営”を実践することが、企業規模に関わらず、重要な要素となりつつあります。

広島銀行では、2020年1月に「〈ひろぎん〉SDGs取組支援サービス」を創設し、地元企業へのSDGsの普及・啓発と取組みの促進を図ってまいりました。この取組みを更に発展させ、地元企業の経営にサステナビリティの要素を統合させながら実際の活動に取込む、更にはそれが地域のサステナビリティ向上にもつながっていくことを目的とし、地元企業のサステナビリティ経営の導入・実践を支援するサービスを創設しました。

2. 「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」について

(1) 特長

○これまでに公表されているサステナビリティ経営に関するさまざまな指標と、日本・地域特有の社会課題、更には企業の理念やビジョン、経営資源、外部環境等を踏まえて作成した広島銀行専用ツール※1を使用します。そして経営者との複数回の対話を通じて、サステナビリティ経営の観点から全体を俯瞰し、その導入・実践に向けて検討すべき重要課題(マテリアリティ)の絞り込みおよびサステナビリティ経営の実践に向けた基本方針の策定をサポートします

※1 サステナビリティ経営コンサルティングに専門的な知見を持ち、地元企業へのサステナビリティ経営導入支援という主旨に賛同いただいた日本経済研究所が作成したツールをもとに、地域課題も踏まえ作成した広島銀行オリジナルのツール

○社内での啓発や社外への情報開示に活用可能な“サステナビリティ経営方針”のデータと、ツールを活用した分析結果を踏まえたフィードバックレポートをご提供します(ご希望に応じて、本サービス利用にかかる広島銀行からのニュースリリースも可能)

○ご希望に応じて、グループ機能とアライアンスを活用した具体的な計画策定支援や実行支援(別契約)を通じて、サステナビリティ経営の実践・浸透をサポートします

(2) サービス概要

取 扱 店	法人取引のある広島銀行の全営業店
対象となる方	広島銀行と預金取引のある法人のお客さま
サービス内容	経営資源や経営理念、外部環境などを踏まえ、経営者との複数回の対話によって当社のサステナビリティ経営の主軸となるマテリアリティを特定し、“サステナビリティ経営方針”策定までを支援するサービスで、最終的な成果物として①・②を提供するもの ①策定した“サステナビリティ経営方針”のデータでの提供 (策定した方針は、希望に応じて当行ホームページにてニュースリリースも可能) ②当社のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポートの提供 経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程などを踏まえた10ページ程度のレポートを作成し、フィードバック実施
利用手数料	1,100,000円(消費税込)

3. 取扱開始日

2022年1月14日(金)

以 上



広島銀行では、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGs17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社広島銀行 法人企画部
TEL (082) 247-5151 (代表)